

JR 駅構内に「もせうし」の駅名案内板

JR 妹背牛駅のホームに「もせうし」の駅名案内板が設置された4月28日、JR 北海道旭川支社の川戸俊美支社長が現地の視察を兼ねて町長室を訪問しました。

町のキャラクターをモチーフにした駅名案内板は、1番線(下り)と2番線(上り)の2種類。カーリングのストーンに浮かび上がる「あいもちゃん」と、愛くるしい「ウッチー」のデザインが楽しめます。

JR 北海道によると、自治体が独自の駅名案内板を設置するのは道内で初めて。川戸支社長は「町の特徴を生かすことで、JR も盛り上がる。SNS を通じて、ローカル線が輝ききっかけになれば」と期待を込めました。



町長室を訪問した川戸支社長(写真左)

モー突進レポート

SHOW TIME 翔たいむ



田村翔惟です。今回は、JR 妹背牛駅のホームに駅名案内板が設置されたことを記念し、函館本線に乗ってみました。マイカー通勤4年目、普通列車への馴染みが薄い私の珍道中をお楽しみください。

函館線は、札幌や旭川

など道内の主要都市を結ぶ利便性の高い鉄路です。普通列車が停車するJR 妹背牛駅では、主に町民の皆さんが通学や通院に利用しており、大切な交通手段の一つとなっています。

妹背牛の玄関口にお目

見えた駅名案内板は、地名の読み方が難しいことで知られる「もせうし」のPRとJRの利用促進が目的。SNSやメディアで紹介され、話題性が高まっていることから、今回は函館線に乗りこする体験レポートを企画しました。

乗車した日は、春風が心地よい晴天でした。気分も高揚して、事前に調べた時刻より30分ほど早く駅のホームに到着。早速、

駅名案内板の

もとに向かい、

牛のキャラクター

にちなんだかわいらしい

デザインの案内板をバックに記念撮影



駅名案内板と記念撮影

いざ、普通列車に乗車



を楽しみました。

「カン、カン、カン」と普通列車が妹背牛駅に近づいてくる軽快な音。到着した列車のドアが開き、意気揚々と車両に乗り込み普通列車の旅が始まりました。自動改札機のない無人駅で乗車料金の支払い方法が分からないまま…。

車窓からの景色を楽しもうと、悩んだ末に前方から2列目の左側の座席に着席。徒歩や自動車とも違う、さっそうと走る列車の心地よい揺れに身を任せながら、美しい新緑の風景に心が癒されました。

改札口のある駅で降りて、乗車料金を支払い、普通列車の旅は終了。

わずかな乗車時間で、充実感に浸れる1日でした。



車窓からの景色にうっとり